

※ 学則（細則）より抜粋

2 成績評価の記載について

<筆記試験・実技試験>

(1) 評定について（5段階評価及び単位認定）

①学籍簿に記載する5段階評価については次のように換算する。

5段階評価	S	A	B	C	F
学習評価点	100～90	89～80	79～70	69～60	59以下

① その課目の成績評価が「C」以上の時、所定の単位を与える。

(2) GPA (Grade Point Average)

GPAは学生が履修した全科目の成績の平均を数値で表したもので、年度ごとのGPAと入学時から通算の累積GPAの2つのGPAが算出される。本校が導入するGPA計算方法は次による。

① 試験得点に応じて5段階（4.0 3.0 2.0 1.0 0）の数値（グレード・ポイント）を設定する。

不合格となった課目のグレード・ポイントは0点となる。

② 各履修課目のグレード・ポイントに課目の単位数（30時間＝1単位）をかけた値を全履修課目分を合計し、その値を全履修科目の単位数で割ったものがGPAとなる。

【成績評価とGPA】

合否区分	5段階評価	学習評価点	グレード	グレード・ポイント
合格	S	100～90	S	4.0
	A	89～80	A	3.0
	B	79～70	B	2.0
	C	69～60	C	1.0
不合格	F	59以下	F	0

【算出式】

$4.0 \times S$  の修得単位数 +  $3.0 \times A$  の修得単位数 +  $2.0 \times B$  の修得単位数 +  $C$  の修得単位数  
総履修単位数（「F」の単位数も含む）

【例】 ※合計：37単位 グレード・ポイント合計：78

$GPA = 2.10 (78 \div 37 = 2.10 \dots \text{小数点第2位を四捨五入する。})$

(3) 追試験での合格は、合格最低点の60点を記載する。

(4) 全ての筆記試験について

① 答案用紙の氏名欄に姓と名を明記すること。氏名欄が空白、姓、名のみの場合は評価点を0点とする。

② 筆記用具については、必ず鉛筆またはシャープペンシルを使用すること。

それ以外の筆記用具を使用した場合は、評価点を0点とする。

③ 解答用紙の改ざんは0点とする。